

**製品名: KV8.2 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab13170**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	62kDa

## 抗原情報

遺伝子名	KCNV2
別名	KCNV2; Potassium voltage-gated channel subfamily V member 2; Voltage-gated potassium channel subunit Kv8.2
遺伝子 ID	169522.0
SwissProt ID	Q8TDN2
免疫原	抗血清はヒト KCNV2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 187-236

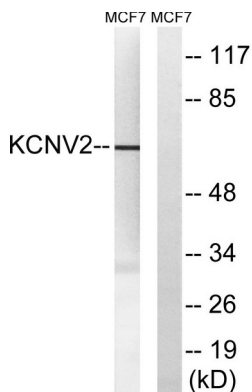
## 背景

電位依存性カリウム (Kv) チャンネルは、機能的および構造的観点から、電位依存性イオンチャンネルの中で最も複雑なクラスです。そ

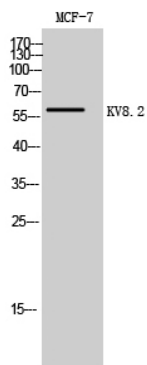
の多様な機能には、神経伝達物質の放出、心拍数、インスリン分泌、神経細胞の興奮性、上皮電解質輸送、平滑筋収縮、細胞容積の調節が含まれます。この遺伝子は、カリウム電位依存性チャンネルサブファミリー V のメンバーをコードしています。このメンバーは「サイレントサブユニット」として識別され、ホモマルチマーを形成せず、他のサブファミリーメンバーとヘテロマルチマーを形成します。必須のヘテロマー化を介して、他のカリウムチャンネルサブユニットの機能を変更する効果を発揮します。このタンパク質は膵臓で強く発現し、他のいくつかの組織では弱い発現を示します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: KCNV2 の欠陥が網膜錐体ジストロフィー 3B 型 (RCD3B) の原因である[MIM: 610356]。夜盲症および超正常桿体反応を伴う錐体ジストロフィーとも呼ばれる KCNV2 関連。RCD3B は、超正常桿体反応を伴う錐体ジストロフィーのまれな形態である。この疾患は、視力低下、光嫌悪、夜盲症、および色覚異常を特徴とする。幼少期には、網膜の黄斑部にわずかな色素脱失が見られ、後に萎縮のより顕著な領域が現れる。、ドメイン: セグメント S4 はおそらく電圧センサーであり、3 つおきの位置にある一連の正に帯電したアミノ酸によって特徴付けられる。、機能: カリウムチャンネルサブユニット。閾値および最大半減期をより負の値にシフトさせることにより、チャンネルの活動を調節する。、類似性: カリウムチャンネルファミリーに属する。V サブファミリー。、細胞内位置: 細胞膜に挿入されるには、KCNB1 またはおそらく他のパートナーと関連している必要がある。KCNB1 が存在しない場合でも細胞内に留まる。、サブユニット: KCNB1、KCNC1、KCNF1 とのヘテロ多量体。ホモ多量体を形成しない。、組織特異性: 肺、肝臓、腎臓、膵臓、脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、結腸で検出される。、

## 研究分野

## 画像データ



KCNV2 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



KV8.2 ポリクローナル抗体を用いた MCF-7 細胞のウェスタンブロット解析

